

12/18

ゴールボールの山口凌河選手が、^{りょうが}関川小で講演会 児童 34 人に伝える、視力を失って得たパラリンピックへの夢



ゴールボールは、アイシェードという光も入らないゴーグルをつけて1チーム3人で行う球技です。コート大きさは、バレーボールと同じ。両サイドにはサッカーゴールと似たゴールがあり、鈴の入ったバスケットボール大のゴム製のボールを転がし、点を奪い合います。

今年度、関川小学校と府中中学校は「オリンピック・パラリンピック教育推進校」に指定され、関川小では、パラリンピックの正式競技「ゴールボール」の山口凌河選手（取手市出身）を招き、講演会が行われました。

山口さんは中学2年生の終わりに目の難病「レーベル病」を発病。2.0あった視力を失い、わずかに人影や光を認識できる程度に。進学した県立盲学校でゴールボールに出会い、2017年男子ゴールボール日本代表強化指定選手に選出され、東洋大学を卒業後、現在は関彰商事株式会社に勤務し、県内小中高校などで自分の経験とゴールボールの魅力伝える活動をしています。

「ゴールボールを通して、色々な場所に行き、多くの人と出会い、パラリンピック出場という夢ができました」と山口さん。

講演会を聞いた6年生の齋藤保則さんは「想像以上にボールが重く、スピードは迫力があつた。山口選手の姿をみて、苦しいことがあつても、挑戦していくことは大切だと感じた。パラリンピックの試合を見るのが楽しみになった」と話しました。

12/19

第60回 石岡市美術展に 817 人



12月1日～19日、八郷総合支所1階多目的ホールの郷の風で、市民の皆さんの日頃の文化芸術活動の成果を発表する「第60回石岡市美術展」を開催しました。彫刻・工芸美術・書・日本画・洋画・デザイン・写真に168人の皆さんの作品を展示しました。42点の受賞作品を石岡市ホームページで紹介しています。

石岡市出身のテキスタイルデザイナー・須藤玲子さんと陶芸家の浦口雅行さんの作品も特別展示し、大変好評でした。

12/21

高校生たちのチャレンジ 石岡二高 SATUKI CAFE



石岡二高の2年生10人が、12月21日、22日にSATUKI CAFEをオープンしました。場所は駅前の石岡カフェの店舗跡。これは茨城県の生涯学習課が主催する「IBARAKI DREAM・パス事業」の支援を受けて実施しています。

メニューには石岡二高の生活デザイン科に代々伝わる伝統のレシピで作ったバター風味豊かなマドレーヌなど。企画した小高朗俊さん（2年）は「自分たちが暮らし、学ぶ場所を活気づけたい」と話しました。

11/21 「もったいない いちご」 を使っていちご絵ハガキ作り



石岡市と共同で「歴史的景観及び里山景観調査研究」を行う筑波大学では、地域の産業から生まれる景観を身近に感じてもらうために、地元いちご園で余ってしまった「もったいないいちご」を活用し、小幡小学校で「八郷いちごプロジェクト」を実施しました（10月16日には小幡小でも実施）。

これはいちごを搾って絵具を作成し、それをもとに「いちご絵ハガキ」を作るというもので、甘い香りの絵具に児童たちも大喜び。素敵な作品ができました。

12/18 ^{あきのぶ}濱田亮信くんアイデア貯金箱コンクール文部科学大臣賞



全国の約半数の小学校が応募している第44回ゆうちょアイデア貯金箱コンクールで、濱田亮信くん（府中小3年）が最高賞となる文部科学大臣賞を受賞しました。作品は紙粘土と段ボールを使い、ハチの巣に見立てたもの。「家にできたハチの巣を駆除してもらったときに見せてもらったハチの巣の形がおもしろかったので思いつきました。難しかったのはハチの巣感を出すのに段ボールをまくバランス。」濱田くんの貯金箱は全国のイオン等に展示されます。

11/9 民生委員の活動を知って。3年目のキャンペーン



東地区の民生委員児童委員協議会（川田豊会長）は、民生委員の活動を知ってもらおうと、ウェルサイト石岡で活動周知キャンペーンを行いました。この活動は、今回で3年目になります。

民生委員・児童委員とは、高齢者や障がい者世帯の見守りや行政の支援のつなぎ役を担っていて各地区にいます。3年ごとに改選され、昨年12月に一斉改選が行われました。各地区の民生委員は10・11ページをご確認ください。

11/24 初開催スポーツフェスティバルで珍しいスポーツ体験



スポーツ推進委員主催の「スポーツフェスティバル」が石岡運動公園で開催され、大いに盛り上がりました。スポーツ推進委員とは、仕事の傍ら、地域スポーツの発展のために活動する人たちのこと。

バドミントンや輪投げのほかペタンクなどの珍しいスポーツも家族で気軽に体験できます。大きな楕円形の柔らかいボールを使うヘルスバレーボールを体験した参加者は「難しかったけど楽しかった。またやりたい」と話しました。